



社会的課題をビジネスモデルを通じて解決する社会企業家の育成

商学部
経営・流通学科
准教授

木村 隆之



研究シーズの紹介

社会的課題の解決をボランティアや政治の力ではなくビジネスを通じて行う社会企業家への注目が高まるなか、次世代を担う若者たちの社会的課題への気づきやソーシャルアントレプレナーシップの醸成が急務となっています。本研究では、多様な社会的課題に気づくことから問題発見能力を高め、課題の

深堀を行うことで当事者意識を醸成します。そのために、綿密なフィールドワークを実施し、問題の真相にあるものはなにかを把握していきます。そのうえで、経営学の知見を用いながら解決策としてのビジネスモデルを構築し、社会的課題解決型の人材を育成していきます。



ソーシャル・アントレプレナーの育成

- 社会的課題に敏感な人材を育成します。
- 身近な地域課題などをビジネスで解決する人材を育成します。

フェーズ1



社会的課題への関心度を高め、主体的に解決しようという動機付けを獲得する

フェーズ2



- ・フィールドワークを通じて社会問題の現実を直視し、当事者意識を醸成する。
- ・綿密な調査により、現実的なビジネスモデルを構築する

フェーズ3



ビジネスモデルのブラッシュアップを通じて、ソーシャル・アントレプレナーシップを獲得していく

期待される活用シーン

- 若者の知恵と力を活用して地域活性化を行いたい

地方自治体



学生グループによる現地調査やワークショップを通じて、解決案の政策提言を行う

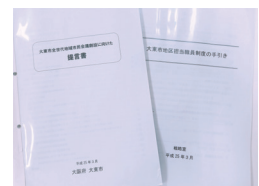


福井県おおい町まちづくり政策提言コンテスト最優秀賞

- 地域ビジネスの振興や各種行政政策の検討を行いたい



行政コンサルタントの経験を持ち、地域活性化を経営学の視点から研究する学識経験者として、地方自治体の政策立案に貢献できる



大阪府大東市市民会議制度創設

その他の研究テーマ

福岡ベンチャー起業家に関する研究、地域活性化に関する研究
障がい者雇用に関する研究、外国人技能実習制度に関する研究
働き方改革に関する研究